

Public Seminar on “Reproduction Strategy of Neolithic Humans through Breast Feeding”

公開セミナー「授乳・離乳習慣からみる新石器時代のヒトの生殖戦略」

日時：2016年6月8日（水）13:00～14:30

会場：東京大学総合研究博物館 1階企画講演室（展示ホール内）

Venue: Exhibition Hall in The University Museum, The University of Tokyo

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/information/map.html>

主催：新学術領域研究「稲作と中国文明－総合稲作文明学の新構築」研究項目 A05 高精度年代測定および稲作農耕文化の食生活・健康への影響評価」（研究代表者・米田 穰）

参加無料・申し込み不要 Charge free/ No reservation required

使用言語：英語 Language: English

新石器時代に本格的な農耕が開始され、世界各地で人口が激増した。その背景には、穀物利用と定住生活によって、ヒトの生殖戦略が変化した可能性が指摘されてきた。先史時代の育児や成長に関わる情報を得ることは困難であったが、幼児骨や歯牙の同位体分析が離乳・授乳習慣の復元に有効であることが示され、世界各地で知見が蓄積されつつある。本公開セミナーでは、同位体を用いた先史時代の離乳・授乳習慣の復元をリードする研究者2名による最新の研究成果を紹介して頂き、稲作の起源地と考えられる中国長江流域の新石器時代への応用について議論する。

演者・演題

Dr. Takumi Tsutaya (Kyoto University/JSPS) “Isotopic reconstruction of breastfeeding and weaning practices: past, present, and future.

(葛谷匠：同位体分析による授乳・離乳習慣の復元：これまで・現在・これから)

Dr. Benjamin Fuller (Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology/ University of Chinese Academy of Science in Beijing) “Breastfeeding and nutritional stress”

(ベンジャミン・フラール；授乳と栄養ストレス)

皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先：Contact

米田 穰（東京大学総合研究博物館）

Professor Minoru YONEDA

myoneda@um.u-tokyo.ac.jp

